

オリエントナノ便り

お客様各位

拝啓 寒冷の候、貴社ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

関東では今月 23 日に大雪が降り、交通機関が麻痺するなど大きな混乱が起きました。たった一日の降雪でアタフタとしてしまう都会。

雪の多い地区で苦勞されている皆様から見れば「何とひ弱な都会！」と思われたのではないのでしょうか？

さてこの所本川達雄さんと言う東京工大の大学院生命理工学研究所教授の本の魅力に取りつかれています。本川氏はナマコの研究者でもあります。

目立たず役にも立たないナマコの研究は超地味な世界なのですが、ナマコの生態の話はメチャクチャ面白いのです。

今は美しい珊瑚と褐虫藻^{かつちゅうそう}の共生生活の話に感動し、クレヨンまで買って来て絵に描きたいと思っています。

珊瑚（動物）の細胞の中には褐虫藻（植物）と言われる植物性プランクトンが住み、褐虫藻が光合成する事で出来たタンパク質の 9 割近くを珊瑚に与え、珊瑚の排泄物（窒素化合物）は褐虫藻がもらい受けています。又珊瑚の呼吸で出した二酸化炭素を褐虫藻が光合成に使い、出来た酸素を珊瑚に供給しています。珊瑚は食べ物、トイレ、呼吸を褐虫藻に支えられているのです。又そのお礼でしょうか？珊瑚は光合成しやすい日当たりの良い岩礁に住んでいますが、植物は紫外線に弱い為、褐虫藻の上に紫外線を吸収するフィルター物質（マイコスポリン様アミノ酸）を置いて守り、強い可視光もカット出来るようにしてあげているのです。

この本から学ぶことは、人間こそあらゆる生命との「共生」関係無しでは生きられないという事です。私達は食べ物も呼吸も水もあらゆるものを他の生命から頂いています。大きな声で「ありがとうございます！！」と叫びたくなりました。これからもあらゆる生命の尊さを忘れずに精進してまいりたいと思います。



どうか本年も何卒よろしくお願い申し上げます。

敬具

代表取締役 花輪麻美